

## 徳島県における骨粗鬆症への取り組み

中 川 洋 一

徳島県保健福祉部健康増進課対策監

(平成11年9月24日受付)

### *Measures against osteoporosis in Tokushima Prefecture*

*Youichi Nakagawa*

*Division of Health and Welfare, The Prefecture of Tokushima*

徳島県において行政機関である市町村及び徳島県が実施している骨粗鬆症に関する取り組みを紹介する。

#### 1 市町村が実施している事業

##### ① 老人保健法による保健事業

保健事業の中で骨粗鬆症に関係する事業としては、第一に骨粗鬆症予防又は寝たきり予防のテーマを選択して実施する重点健康教育がある。第二に40歳以上の寝たきりの状態またはこれに準ずる状態にあるものに対して保健婦等による訪問指導が実施されている。なお、訪問指導については、平成12年度から開始される介護保険と対象者の重複がないよう調整が行われる予定である。

##### ② 骨粗鬆症検診

平成9年度において34市町村で7201人の骨粗鬆症検診が実施された。市町村の単独事業でありDIP法で行っている。

#### 2 徳島県が実施している事業

##### ① リハビリテーション実態調査

平成10年度に県下の訪問看護ステーション等の協力で県内のリハビリテーション体制の現状分析を行った。この中から骨粗鬆症と関係の深い骨折の症例を紹介する。骨折から在宅療養までの各関連機関の連携の状況及び在宅療養における訪問看護、デイサービス等のサービス利用の現状等を今後のリハビリテーション体制の構築の基礎資料としたい。

##### ② 県民健康栄養調査

平成9年度に県民の栄養、運動等の生活習慣調査と血液検査等をあわせて実施することによって得た結果の中で骨粗鬆症と関係する部分を紹介する。カルシウム摂取量については、県平均では所要量を充足しているものの年齢別にみると15~49歳では不足している。カルシウム摂取習慣の定着を図る教育を15歳までに実施する必要がある。また、徳島県の男性の歩行数が全国より1250歩少ないことやカルシウム摂取量は意識すると増えることが示唆された。今後の栄養指導の基礎資料としたい。